

三六四八番

海原うなはらの 沖辺おきへに燈ともし いざる火ひは 明あかして燈ともせ
大和島やまとしまみ見む

三六四九番

鴨かもじもの 浮うき寝ねをすれば 蜷みなの腸わた か黒くろき髪かみに
露つゆそ置おきにける

三六五〇番

ひさかたの 天照あまてる月つきは 見みつれども 我あが思もふ
妹いもに 逢あはぬころかも

三六五一番

ぬばたまの 夜渡よわたる月つきは はやも出いでぬかも 海うな
原はらの 八十島やそしまの上うへゆ 妹いもがあたり見みむ